

ふるさとを子育てしやすいまちに



株式会社アクセス(大垣市)より、企業版ふるさと納税制度を活用し、100万円を寄附いただきました。

7月26日(水)に川地憲元町長を訪問した同社の上田淳太郎代表取締役は「何事も継続していくことを大事にしています。自分が育ったまちに、少しずつでも継続して恩返しをしていきたいです。人口が減っているので、子どもを育てやすいまちや地域づくりの一助としてください」と話しました。

いただいた寄附金は、地域での教育および子育て環境の充実のため、学校施設の整備に活用させていただきます。

亡き父の日章旗



アメリカのテキサス州で博物館に展示されていた養老町出身の陸田繁義さんへの寄せ書きの日章旗が、7月29日(土)に遺族のもとに返還されました。8月1日(火)に、陸田敏弘さんと陸田靖則さんが川地憲元町長を訪問し、返還された日章旗を披露しました。

敏弘さんは「私たちにとって、この日章旗は家族や地域との繋がりを知ることができる貴重な資料です。返還されたことに大きな喜びを感じているとともに、これまで大切に保管し、返還してくれたアメリカや、それに関わった皆さまに大変感謝しています」と遠くを見つめながら話しました。

ラジオ体操で迎える爽やかな朝



7月17日(月)に、高田中学校グラウンドにて高田地区一斉ラジオ体操のつどいが開催されました。会場に集まった地域住民は、6時30分からのラジオ放送に合わせて一斉にラジオ体操を行いました。また、8月19日(土)には広幡地区においても広幡小学校グラウンドにて一斉ラジオ体操が行われ、地域住民が参加しました。

両日ともに雲ひとつ無い晴天で、絶好のラジオ体操日となり、たくさんの地域住民が参加しました。参加者はラジオ体操で体を動かし、清々しい朝の空気を胸いっぱいに取り込むことで、爽やかに一日の始まりを迎えました。

青少年の健全育成のために



夏休み期間中における青少年の健全育成および地域安全を目的として行われる合同パトロールの出発式が7月22日(土)に実施されました。パトロールは親孝行と生涯学習を進めるまち養老推進会議、養老・上石津地区地域安全指導員、養老警察署によって合同で実施され、町内の商業施設やコンビニ、養老鉄道各駅、公園などを巡回し、異常が起きていないかを確認しました。